

- 鬼瓦社長 | こら～、くさたべ！いつまで残っとるんだ～！早く帰れ！
- 経理くさたべ君 | あ、すみません、社長。僕も帰りたいんですけど。今日中に、この資料を会計事務所に送らないといけないものですから。
- 鬼瓦社長 | オ～！そうかそうか(うれしそうに)。ウチは三月決算だからなあ。今年の決算は早く出来そうだな。
- 経理くさたべ君 | いえ、去年よりも遅くなりそうなので、あわててるんです。
- 鬼瓦社長 | なぜだ？決算作業やっとならど？
- 経理くさたべ君 | いえ、これ二月分なんです。この前たな卸やったら、倉庫がゴミだらけだったんで、気になって片付け始めたんです。そしたら、2週間もかかっちゃいまして。でもやった甲斐があって、今は美術館みたいにきれいですよ。
- 鬼瓦社長 | こいつはアホか天才かどっちなんだあ？それとも倉庫係にしてほしいのか？
- 経理くさたべ君 | うー。なんでこの数字、210円合わないんだ？？？
- 鬼瓦社長 | それはいいから、さっさと進めろ。少々違ってても良い。
- 経理くさたべ君 | え？ダメですよ。月次はきちっと締めないと正しい損益の把握ができないって、社長、毎回僕を怒るじゃないですか。
- 鬼瓦社長 | それは、そうだが、お前今日が何日かわかっとるか？
- 経理くさたべ君 | 四月の25日ですよ。へへへ、この日だけは忘れない(ニタ～)。
- 鬼瓦社長 | 何を笑っとるか！気持ちの悪い奴だなあ。いいか、今が四月でお前のやっとな作業が二月分。もう2ヶ月も前の話だぞ。そんな古い数字、見ても意味がない！
- 経理くさたべ君 | でも、二月分放っておいて三月分や決算をやるのはムリですよ。社長、わかってますかー？
- 鬼瓦社長 | いちいち、腹の立つ奴だなあ。もう、いい。ハルに電話しろ。
- 経理くさたべ君 | え？今からですか？もう9時過ぎてますよ。
- 鬼瓦社長 | 構わん。あそこなら誰かおる。もつとも、君にこんな事やらせてる会計事務所だ。役に立たんかもしれんが、一応あそこもTKCだからな。
- 経理くさたべ君 | 社長、お言葉ですが、経理にとって一番大事な仕事は、正しく数字を整理していく事なんじゃないでしょうか。それを少々違ってても良いなんて…。
- 鬼瓦社長 | くさたべは、経理何年目だ？3年目？まだ毛も生えとらん。じゃあ教えてやろう。経理にとって一番大切な仕事は数字の整理なんかじゃない。今の会社の状況をつかみ、いち早くそれをトップに知らせる事だ。過去に生きてはいかん。今にそして未来に生きる。だからお前…、別れた彼女の写真を、机の中にしまうのは、やめろ。
- 経理くさたべ君 | え？え？え～？社長、どうして知ってるんですかー？